

SDGsの概要について

■SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、本県、国も積極的に取り組んでいます。

日本の企業、NPO等の団体もSDGsの目標の達成を掲げて、様々な取組を実践しています。



■津久井やまゆり園との関わり

津久井やまゆり園は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第5条第1項に規定する施設障害福祉サービス等を行い、障害者等（同法第2条第1項第1号に規定する障害者等をいう。）の福祉の増進を図ることを目的に設置された施設であり、SDGsの目標3（保健）、目標10（不平等）及び目標17（実施手段）と関わっていると考えます。

■参考

外務省が、企業・団体等の取組事例を紹介しておりますので、そちらもご参照ください。
 〈外務省HP：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>〉